

# 木曾町におけるオルタナティブスクールの可能性

## ～ スタッフからのメッセージ ～

現在は予測不能な時代と言われ、社会や価値観の変化が目まぐるしく起きており、それは家族観や教育観といったものにも変化を及ぼしています。コロナ渦を経て、不登校の児童に限らず定期的に学校に通っている児童の親であっても「今しかできないことを大切にしたい」と考え、子どものための「教育移住」といった言葉も耳にするようになりました。私たちキソツク子どもの学校では、木曾に「今いる子どもたち」への寄与とともに、「これから来る子どもたち」についても、視野に入れていきたいと考えています。

### ・教育の多様性としての土地の魅力の増加

現在、木曾郡において公立学校以外で子どもが集える場所は多くない現状です。魅力的な公立学校と同時に、多様な選択肢としての民間の学びの場があることは、子どもたちや保護者、地域の安心につながり、またそれを受け入れる土壌がある場所であるとして、地域の魅力の向上につながると考えられます。

### ・二拠点生活を念頭に置いた二重在籍やドロップインの受け入れ

木曾町の移住者を増加させる手段の一つとして、子どもがいるご家庭に定期的に来訪していただけるよう、二重在籍やドロップインの受け入れをする事で、木曾町の関係者人口の増加が期待できます。

### ・教育移住に特化した「移住体験宿」としての運営

また、移住を検討している家庭に向けて「教育移住」の機関としての活動も行う予定です。現在キソツクの校舎として活用予定の「奥田屋」は移住体験宿であり、その機能を活かして遠方からの宿泊も兼ねた移住体験場所として利用することができます。子どもの受け入れの場所としての活動と合わせて、子どもにより良い環境で生活させたいと考えているご家庭向けに、私たちが木曾町の魅力を伝達し、親御さん木曾町に興味を持って来訪していただけるよう尽力したいと思っています。

木曾町の自然、観光、人、物、様々な資源をできる限り後世に残すためには、政府が推奨するスモールタウン構想の中で、木曾町の魅力を維持し、さらに新しいアプローチをすることで人口の増加に繋がり、それが木曾ならではの魅力になると考えます。独自の文化が残る木曾町が「活発に活動している」と感じていただくことで木曾町の住民もさらに活発になり、今以上に活気あふれる町になり、いずれは未来の子どもたちに繋がり、子どもたちの明るい笑顔を守ることに繋がると信じています。

私たちキソツクは、ワクワクした未来を、そして大人たちが後世へ安心して送り出すことのできる未来を作る一翼を担いたいと考えています。